
年上のおねーさんは好きですか？

猫虎トラネコまねきねこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

年上のおねーさんは好きですか？

【Nコード】

N0832BA

【作者名】

猫虎トラネコまねきねこ

【あらすじ】

今回も年下少年物です

幼稚園からの長いあこがれと恋愛

こどもを武器に年上のおねーさんに積極アピール

純粋さと狡猾さが交錯中

そんなかねつぐ ゆうとくん

お好きですか？おねーさん？

ゆうと 5さい こいにおちた！

「ぼくの名前は、かねつぐ ゆうと5さいです」

おかーさんが他の人とお話してる時はとっとも長い
つまないから、もういこうよ

っていうのに、おかーさんはやめてくれない
ぼくが、遊んでるときにごはんだから、とかってすぐやめさすくせに
ずるい

でも、僕はみつけた

同じように、つまらなそうなかおをしてまってるおねーさん

だから、ちゃんといったんだ
はじめましてって

そしたら、おねーさんびつくりした顔して、にこりと笑って
ほめてくれた

らいねんは小学生なんだから
あいさつできるのはあたりまえなんだぞ

そういうと、
「すごいね、ゆうとくん」
そういつて、撫でてくれた

おねーさんはいい香りがした
だから、ぎゅって抱きついた
それからいっぱいいいお話した

ぼくはおねーさんのことが大好きだ

だけど、おねーさんの名前をわすれちゃった
おかーさんにきいても

「あらあら」

なんてわらっておしえてくれない
ひどいよね

ぼくの好きな人なのにするいんだ
きつとおかーさんにとってもだいじな人なんだ
おとーさんみたいに

だから、まっててね

およめさんにしてあげる

ぼくがするんだから、ちゃんとまっててね

ゆづと 5さい こいにおちた！（後書き）

え？なにっ何ですか？その目は・・・ほら、久々に表のも書きたくなるじゃないですか

ほのぼのしたのとか・・・

浮気するな？現在のうわきものはどうしたと・・・あーはい・・・

まあ、同じご飯は嫌いなんですよ、味の違うものが食べたいというか5話ぐらいで終わればいいなあ

ゆうつ 6才 小学一年生！

ともだち100人できたっ

くらすが、30人だから、3つともうすこしで100人でも、だれがだれだかわかんなくなっちゃう

おねーさんのなまえみたいに忘れるのはいやだからみんなになまえかいてもらった

おかーさんにいうと、その中から

大事なおともだち、親友ができるといいわねっていわれた

ふつうのおともだちと違うらしい
じゃあおねーさんは？っていうと

うふふふって笑った

まだまだおねつねっていわれたけど、おねつなんてでてないや
元気なのにへんなおかーさん

しばらくして、おかーさんのいったことが
すこしわかった

あいつ、きらいだ

すぐなぐるし、どなるもん

だからたたいてやった

でも、たたいからせんせいはだめよっていった
仲直りのあくしゅした

ぎゅってされた、ちよっといたかった

でも、仕返ししたら、むこうのほうがいたそうだった

かつた！

おねーさん守れるように強くなるんだっ

ゆうと、9才 小学三年生

みつかった！おねーさん発見

おねーさんは、中学生だった

名札をみたら、峰山ってかいてた

頑張っておぼえて、おかーさんに聞いたら答えてくれた

おねーさんは受験生とかいうのらしい

だから、邪魔しちゃだめよって言われて気付いた

おかーさん、おねーさんのこといっぱいしってる
ずるいよ

おかーさんは、秘密するんだって
泣いた、いっぱい泣いた

あとから考えたら凄くかつこわるかったけど
でも、おかーさんはずるい

ずっと探してるのしってるのに秘密にするから

おとーさんに言ったら

「あー」といって、こまった顔した
どうしたんだろう

「ゆうとは、男の子だろ

おねーさんは女の子だろ

だから、一緒に遊べないんだよ」
っていわれた

そんなこと聞いてないけど、

かなり残念だった

なんだよ、一緒に遊んでくれたらいいのに

それから、少しおねーさんと話した

でも、おかーさんにみつかりと、すぐに連れて帰られた

「もう、受験生なのにごめんなさいね
ほほほ」

とか言つて、僕にも少しお小言

「邪魔しちゃだめ」
つて言われた

だから、挨拶するだけにした

おねーさんは、小さく手をふってくれた
につこりわらつてくれる

わらつてたほうが可愛いのに、なんでわらわないんだろう

でもいいや、いっぱいいっぱい笑うのは
一緒にいる時で
ね、おねーさん

裕人、12才 小学六年生

峰山祥子 それが、おねーさんの名前だった
3年間、おねーさんと毎日学校にいった
中学校っていい所だった

今年はまた受験生だから大変らしい
大学にいくから、もういつしょにいけないね
って言われて寂しくなっただけ
おねーさんも一緒にいたいだから、
黙ってだきついた

おかーさんみたいに、おっぱいができて
気持ちいい顔をすりつけると、おねーさんはまっかになる
オレよりこどもっぱい所がある

しょーこつてよんだら、怒られた
自分の名前が嫌いなんだって
だから、おねーさんってよんでるけどなんで嫌いなのかな
いつか聞きたいっておもった

毎日抱きついてるけど、おねーさんはやっぱりいいにおい
でも、ちよつと細い
おかーさんみたいに、ふわふわしてない
なんでだろう

おかーさんは、やせたいやせたいっていうけど
いっぱい食べてる
おねーさんはいっぱい食べれないのかな？

サッカーでゴールしたこと言ったら

凄いつて手を叩いてくれた

オレはサッカーチームに入ってるから強くて当然だっていうと
いっぱい練習してるたまものだねって言われた

たまものの意味がわからなかったけど

たまだから、サッカーのことだろう

おねーさんは、サッカーのことあんまり知らないみたいだ
まあ女だからしかたないか

今日は、キスした

真っ赤になった

おねーさん大好きだよってちゃんといたら

ありがとうっていったのに

駄目だったのかな

でも、次の日ちゃんといつもの所で待っていてくれたよかった

テストの成績が悪かった時、公園で、少し教えてくれた

先生よりわかりやすかった

おねーさん先生みたいっていったら、嬉しそうだった

おねーさんの夢なのかな

そつえば、そう言う話ししてくれない

将来の話は大事なのに

こまったおねーさんだよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0832ba/>

年上のおねーさんは好きですか？

2012年1月1日23時48分発行